

平成22年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	原子オーダー平坦な界面を有する3次元立体構造トランジスタの製造プロセスに関する研究
研究代表者	大見 忠弘
審査の所見	<p>本研究は、半導体の多くの要素技術の開発研究において、卓抜した実績を有する応募者が、3次元立体構造トランジスタの製造技術を確認しようとする試みである。原子的尺度で界面を平坦化することによって超低消費電力、超高速動作を実現するという論理には、多少の飛躍があるとの指摘もあるが、日本の半導体産業の停滞に対する強い危機感から、特別推進研究として採択すべき課題であると判断した。</p> <p>今後、本研究を推進していくにあたり、製造の他の要素技術とのバランスに留意するとともに、回路、システムなどの各技術との総合的取り組みの重要性を意識しつつ、日本の半導体産業界を牽引する指導力が発揮されることを期待したい。</p>